

これまでとこれから ～退任のごあいさつ～

前代表 坂場光雄

多くの皆様からたいへん長期にわたってご支援をいただき感謝をしております。運営を担っている皆様もありがとうございます。

1999年11月、それまでの任意団体サヘルの会から、東京都認定の特定非営利活動法人サヘルの森が設立されました。その時に代表に就任いたしました。

マリの現地活動は一時中断もありましたが、2004年からは日本人の派遣、活動が再開されました。その後は毎年、現地活動への派遣が固定化されました。2012～2013年はマリの治安悪化のために日本人のマリ派遣ができませんでしたが、2014年から治安が不安定の中、派遣を再開しています。活動が安定してきたとおもったら、2020年からはコロナ禍になりました。2021年3月の総会で代表を退任しました。

2003年、活動の資金不足から、事務局窓口は町田の会社の一角に移し、事務局員はおかず、それぞれの活動は作業を分担して行うことになりました。忙しい中、皆様のご協力で進めることができました。

作業を分担する方式の運営によって、費用の節約が出来た半面、人々との交流、意見交換が少なくなり、新たな人材不足、考え方の固定化が進んでいるように思います。折に触れて様々なキャンペーン活動の減少や現地活動のテーマも同じようになり、アピールの機会が少なくなったような気がします。ただ、新たな協力スタッフにより、これまで抜けていた外部に向けての広報、活動紹介もされるようになりました。

温暖化による気候変動の振幅が大きくなって、マリではさらなる農業生産減少、砂漠化の拡大が懸念されています。新代表を迎え、新たな体制での活動ですが、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。